

令和4年度 家庭科 「家庭基礎」 シラバス

単位数	2 単位	学科・学年・学級	普通科 1 年 A～G 組
教科書	家庭基礎 気づく力 築く未来（実教出版）	副教材等	生活学Navi2022

1 学習の到達目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
前期	4	家庭科を学ぶにあたって 第1章 これからの人生について考えてみよう 第2章 自分らしい生き方と家族 家庭基礎を学ぶにあたって 第1編 人とかかわって生きる 第1章 自分らしい生き方と家族	・家庭基礎を学ぶにあたって 1節 自分の未来予想図を描こう～生涯発達と発達課題～ 2節 これからの人生をデザインする 1節 自立と共生 2節 ライフキャリア	・家庭基礎を学ぶにあたって、学習の意義や内容・方法・評価について理解します。 ・ライフステージにおける発達段階について学び、現在の自分の課題を考える。 ・今の自分について自己分析を行い、未来予想図を描く。 ・青年期の特徴について学ぶ。 ・これからの自分自身と社会のあり方を展望する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	5 6 7	1節 日本の食文化の形成 2節 私たちの食生活 3節 栄養と食品のかかわり 4節 食品の選び方と安全 5節 食事の計画と調理 6節 これからの食生活を考える	・私たちの食生活 ・栄養と食品のかかわり ・食事の計画と調理 ・これからの食生活を考える	・ライフステージごとの食生活の特徴を学ぶ。 ・自身の食事から食品ごとに含まれる栄養素を学び、バランスの良い食事について考える。 ・食品の調理上の特性を知り、適切な調理を考える。 ・食品衛生（食品の選択、食中毒、食品添加物）について学ぶ。 ・食事摂取基準、食品群別摂取量などを用い、家族の献立作成を行う。 ・調理を通して、基礎的な技術を身につけ、食事マナーを実践する。 ・食品の自給率や食に関する環境問題について考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート ・調理実習
	8	ホームプロジェクト	・ホームプロジェクト ・ホームプロジェクトの発表・相互評価	・ホームプロジェクトの課題をみつけ、課題解決に向け調査・研究を行う。 ・ホームプロジェクトの発表・相互評価する。	・作品（ホームプロジェクト） ・発表・相互評価
	9	第9章 消費行動を考える	1節 消費行動と意思決定 2節 消費生活の現状と課題 3節 消費者の権利と責任 4節 ライフスタイルと環境	・契約、多様な販売方法や支払い方法について学ぶ。 ・問題商法による被害を未然に防ぎ、早期解決する方法を考える。 ・これからの社会に求められる消費者の自覚と、行動のあり方を検討する。 ・日常生活が地球環境やグローバル社会に与える影響について考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
		第10章 経済的に自立する	1節 暮らしと経済 2節 将来のライフプランニング	・適切な家計管理について考える。 ・将来のライフイベントや起こりうるリスクと、その費用について考え、長期的な経済計画について学ぶ。 ・金融商品の特徴と選択基準を学ぶ。	第2回考査

	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
後期	10	食生活をつくる	・食事の計画と調理	・調理に関しての基礎的な技術を身につける。	・調理実習 ・ワークシート
	11	第8章 住生活をつくる	1節 人間と住まい 2節 住まいの文化 3節 住まいを計画する 4節 健康に配慮した快適な室内環境 5節 安全な住まい	・生活と住まいの機能とのかかわりについて考える。 ・気候風土と住まいとの関係、そこでの人間の営みとの関係を考える。 ・ライフステージによる住まいの変化について考える。 ・快適な住まい方を考え、平面計画を立てる。 ・室内環境と健康のかかわりを考える。 ・災害情報の入手方法、安全への備えとして必要なことを考える。 ・誰もが安全に住むための工夫を考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	12	第7章 衣生活をつくる	1節 人と衣服のかかわり 2節 衣服の素材の種類と特徴 3節 衣服の選択から管理まで 4節 持続可能な衣生活をつくる 5節 衣服の構造・デザイン ・基礎縫い ・小物製作	・季節ごとの着こなしについて考える。 ・衣服が持つ機能や安全性などについて学ぶ。 ・暮らしの中での衣服素材の性能と改善について学ぶ。 ・衣服の入手から処分までの流れを学び、衣生活の計画を考える。 ・洗剤・漂白剤・防虫剤などの種類について学ぶ。 ・環境に配慮した衣生活について世界の動向を学び、自分たちができることを考える。 ・洋服と和服の違いを考える。 ・日常生活に役立てるため手縫いの基礎・基本的な技術を身に付け伝統的な刺子の作品を制作する。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	1	第2章 自分らしい生き方と家族	3節 共に生きる家族 4節 家族に関する法律	・「家族」の条件とは何かを考える。 ・家族のライフイベントについて考える。 ・家族が抱える問題を踏まえて、家族を支えるしくみについて具体的に考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
	2	第3章 子どもとかかわる	1節 子どもとは 2節 子どもの発達 3節 子どもの生活 4節 子どもをはぐくむ 5節 子どものための社会福祉	・子どもの発達について考える。 ・子どものからだの成長のようすを学ぶ。 ・子どもの食生活・衣生活、安全管理について学び、子どもとかかわれるようにする。 ・子育てにかかわる社会的課題について知り、どのようなサポートが必要とされているのか考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート
		第4章 高齢者とかかわる 第5章 社会とかかわる	1節 高齢社会に生きる 2節 高齢者を知る 3節 高齢者の自立を支える 4節 高齢社会を支えるしくみ 1節 支えあって生きる 2節 共生社会を生きる	・高齢社会の現状を知り、身近な問題としてとらえる。 ・高齢者と家族とのかかわり、経済、社会での活躍などを知り、高齢者における生活の課題について考える。 ・要介護の高齢者との接し方を考える。 ・高齢期の生活を健康に過ごすための心がけについて考える。 ・介護をめぐる課題の解決にはどのようなことが必要か考える。 ・社会保障制度のしくみを踏まえて将来に向けての課題を考える。	・授業態度 ・発問評価 ・ワークシート 第4回考査

3 評価の観点

知識・技能	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらにかかわる技能を身につけている。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。家庭や地域の生活に関わる課題を見付け思考を深め、工夫し創造する能力を身につけている。
主体的に学習に取り組む態度	さまざまな人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

4 評価の方法

考査の成績、プリントの提出状況や内容を評価、作品への取り組みや内容を評価、また、学習活動への知識・理解、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から評価する。

5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など）

・通常、授業は教室で行いますが、実験・実習の際には調理室または被服室で行います。授業開始に遅れないように移動してください。 ・授業はプリントを配布して学習しますので、管理を確実にしてください。 ・火気や危険物を扱います。指示に従って十分注意してください。
